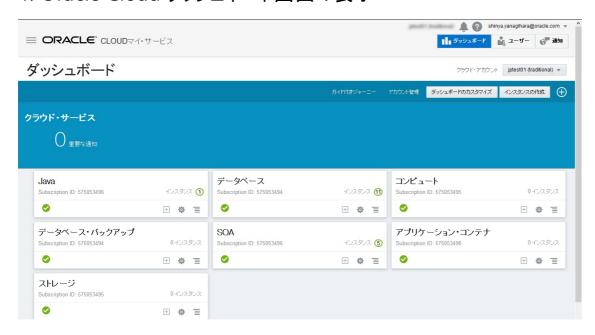
# Oracle Database Cloud Service 環境作成

#### 1. Oracle Cloud ダッシュボード画面の表示



Oracle Cloud で利用可能な各種クラウドサービスを一覧表示しています。このダッシュボード画面から、各クラウドサービスのサービスコンソール画面を表示して利用します。

#### 2. Oracle Database Cloud Service サービスコンソール画面の表示



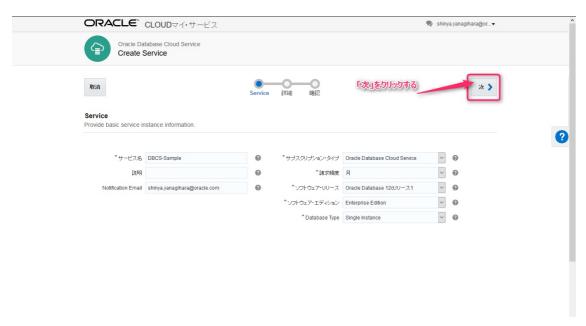
カード表示されている各クラウドサービスから、データベースのメニューを選択します。そして、表示される選択肢から「サービス・コンソールを開く」を選択します。

### 3. サービスコンソール画面からサービス・インスタンスを作成



Oracle Database Cloud Serice のサービスコンソール画面が表示されます。ここで表示される「サービスの作成」をクリックします。

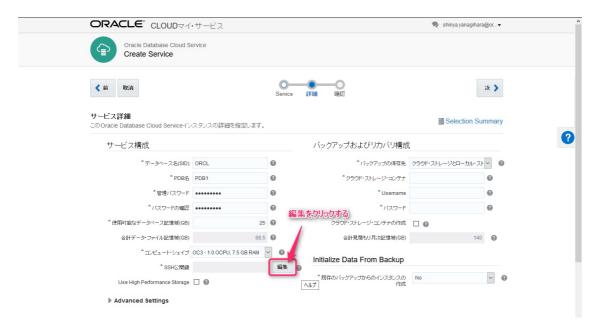
## 4. サービスインスタンスの情報を入力



項目	入力値	備考	
サービス名	DBCS-Sample	Database Cloud Service のインスタンス名	
説明			
Notification Emain	自分のメールアドレス	通知宛先用のメールアドレス	
サブスクリプション・タイ プ	Oracle Database Cloud Service	サービスのタイプ	
請求頻度	月		
ソフトウェア・リリース	Oracle Database 12c リリース1	以下から選択	
		11gR1	
		12cR1	
		12cR2	

ソフトウェア・エディション	Enterprise Edition	以下から選択 Standard Edition Enterprie Edition Enterprie Edition - High Performance Enterprie Edition - Extreme Performance
Database Type	Single Instance	以下から選択 Single Instance Database Clustering with RAC Single Instance with Data Guard Standby Database Clustering with RAC and Data Guard Standby

## 5. データベースの情報を入力



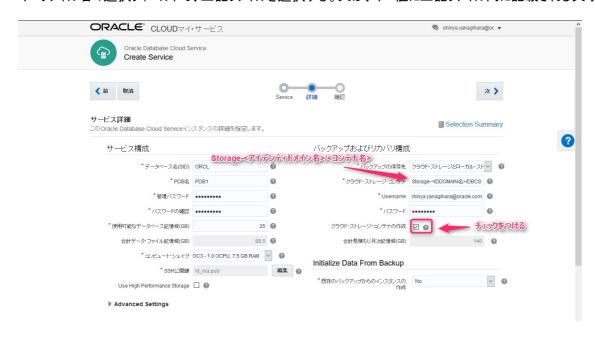
項目	入力値	備考
データベース名(SID)	ORCL	
PDB名	PDB1	
管理パスワード	Welcome1#	
パスワードの確認	Welcome1#	
使用可能なデータベース記憶域 (GB)	25	
合計データ・ファイル記憶域(GB)	-	
コンピュート・シェイプ	OC3 - 1.0 OCPU, 7.5 GB RAM	
SSH公開鍵	下記リンク先にある公開鍵ファイルを 使用	コンピュートノードにアクセスする際に使用する 鍵ペア

SSH公開鍵フィールドの右側にある「編集」をクリックし、下記ファイルを選択する:

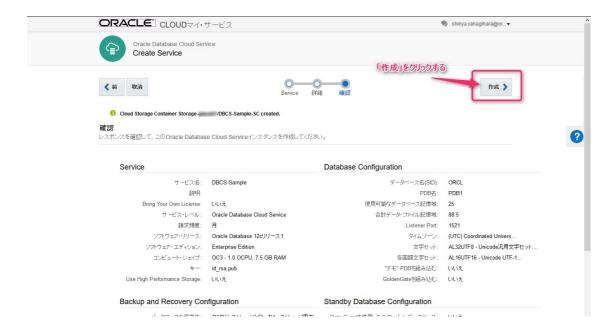
◆ 公開鍵ファイル



キーファイル名の選択フィールドで、上記ファイルを選択する。又は、キー値に上記ファイル内に記載される文字列を記述する。



項目	入力値	備考
バックアップの保存先	クラウド・ストレージとローカル・ストレージ	
クラウド・ストレージ・コンテナ	Storage- < アイデンティドメインドメイン名 > /DBCS- Sample-CS	
Username	自分のログインID	
パスワード	自分のログインパスワード	
クラウド・ストレージ・コンテナ の作成	チェック	コンテナが未作成の場合に新規 作成する



確認画面で入力内容に特に問題がない場合は、「作成」をクリックする